

<音見付スクール Vol 1 1>の進め方について 研修局 大田原 2021.2.8

3/13 の音見つけスクールは、対面講座以外に通信講座でも開催します。

下記の要領で行いますので、宜しくお願い致します。尚、対面講座は江戸川区の鹿骨区民館で、13:30-16:30です。

- A) この HP 案内に添付のデュオ編曲例と転調部（つなぎの部分）の楽譜を参考に、各自でデュオ編曲と転調部分の作曲をしていただきます。初心者の方は、転調部は難しくても、デュオ編曲だけでもいいので是非挑戦してみましよう！
- B) 各自の作品（セカンドパートの対旋律 1 ケースと転調部分の両パートの作曲）は、藤原さんに郵送あるいはパソコンで送付してください。締め切りは 2 / 25。
今回は、事情により締め切りが短くなっておりますが、予めご容赦ください。
楽譜には忘れずに氏名を記入してください。転調後の編曲は不要です。尚、本資料についている楽譜を使用して、手書きで記入してください。ソフトを使っているかたは、改めて手書きとしてください。
- C) その後、上先生は楽譜に朱記いただきます。
- D) 全員の朱記済みの楽譜を HP にパスワード付きで掲載します。氏名は伏せますのでご安心ください。3 / 8 頃を予定しています。
- E) その後、質問・コメント・感想があれば、大田原にメール(kenta_kte@hotmail.com)で連絡してください。締め切りは 3 / 11。
- F) 全員の質問と回答をまとめて HP にパスワードつけて掲載します。3 / 17 頃となります。

以上が、一連の流れになります。

尚、HP への掲載の案内などは、協会の無料メルマガでも広報します。未登録の方は、HP の左下のバナーから申し込んでください。

では、コロナに負けずに頑張って編曲を勉強していきましょう！

「雪の降る街を」対旋律と転調の解説

今回の曲「雪の降る街を」は、正直とってもやりにくい曲でした。何故？って。秋冬号の口琴藝術のエッセイにも書きましたが、この曲の作曲者の中田喜直先生は、私にとって、一番の尊敬する先生であったこと。先生の曲全てが私のバイブルであったことが、やりにくい気持ちになってしまっています。指導者講習会の「夏の思い出」も同じでした。

先生の曲は、手を入れられないほど、きちんと出来上がっているからなのです。ですから、「先生！すみません！ちょっと手を入れさせていただきます」と言う心境で、対旋律は書かせていただきました。

今回の「雪の降る街を」は、前回の「さんぽ」の時のように、テーマを対旋律に活かすことの出来る曲でした。1曲目には、2小節目と、曲の終わりにテーマを響かせて見ました。

2曲目では、最初の2拍の音、レが3つ続くところを（三箇所）、あえてユニゾンにして、この曲の特徴を強調させてみました。

どちらも、全体を通しては出来るだけ飾らずにシンプルに！仕上げたいと思いました。

繋ぎの部分ですが、今回は長二度上への転調としました。ト短調からイ短調です。しかし、この曲は途中で転調していますので、良い勉強になったように思います。

曲そのものが、転調したまま終わっていて、そのまま何もなかったように、2番の歌詞に行く訳です。それが不自然でなく、当たり前のように聞こえるのが、この曲のすごいところですね。

しかし、それが自然に聞こえる理由として考えられるのが、同主調なのです。つまり主音が同じな訳です。ト短調とト長調。それを考えると、繋ぎも考え易いかもしれません。

1曲目は、ト短調を引きずりながら、ト短調の主和音の5度音を、次へ行くイ短調の属7の和音の7度音と置き換えて、イ短調へと進んでいきます。

2曲目はしっかりト長調の属和音（実際は属7、時に属9の和音）を、響かせなが

ら、イ短調の属和音へ行く前に、ドッペリドミナントと言う、五度（属和音）へ行くための五度（属和音）と言う和音を使ってみました。

和声学では、かなり先へ行った時に学ぶものですが、この例題の響きで、この和音の使い方を覚えておくと、とっても便利だし、尚且つ素敵な進行が出来ますので、是非とも覚えてくださればと思います。

いきなり難しい事を言わないでと言われることは覚悟ですが、どうぞ、耳から覚えていただくことが、1番のことだと思しますので、楽しんでいただければと思っています。

(1) - 1

雪の降り街

Chords: Gm A# G Gm Eb D9b9 Gm Gm D

3 3.3 6.5 4.5 3 3 3.3 4.3 6.1 7

! 6 4 7 ! 6.3 6.5 4.5 3 ! 6 ! 3 3.3 3.6 5.3

Chords: Gm Eb Cm D Gm D9 G

1.1 1.1 7.6 7.7 7.6 4 3.3 3 3 3.3 4.3 6.1 7 3.4

6 3 4 2.1 2 3 3. 7 1 - 6 3 0.7 3.6 #5 -

Chords: G7 C G Eb Cm7

5 - 3.3 3.2 1 2.1 6.6 6 1.2 3.3 3.3 3 1.2 1.1 1.1 1 2.1

G 1.2 3 1 A# 5 A# 4.6 4.4 4 0 5.5 4.4 6 0 A# 4.4 5.5 4 A# 4

① - 2

Gm Cm6 D7 G Em Eb

2. 2 2 5^b6 | 1 - - 1.1 | 1 1 1 2.1 | rGm rGm | 1 1 1 444

1 4 4 54 3 656 | 1 - 6 4 6 7.1 | 4 5 1 2

G D

5 - - - 5 - - -

3 5.5 6.5 4.5 5 2 5 -

D G Eb Cm Gm Eb7 E7

5 - 5.5 6.5 4 - 5 4 5 5 5 4.3

5 2 5 0 0.1 7.1 4 1 5.1 4.1 3.5 5

(2) - 1

雪山降子街E

Chords: Gm Eb D9/A Gm Gm D

3 3.3 6.5 4.5 3 - - - 3 3.3 4.3 6.1 7 - - -

3 3.3 4.3 2.7 1 3 1 6 3 3.3 2.1 3.6 #5 3 #5 7

Chords: Gm Eb Cm6 D Gm D9 G

1.1 1.1 1 7.6 777 764 3.3 3 3 3.3 4.3 6.1 7 - - 3.4

6 5 4 - 3 2 1. 7 3 3.3 2.1 3.6 #5 5.6 6.7 7

Chords: G9 C G Eb Cm7

G 5 - 3.3 3.2 1 2.1 6.6 6 1.2 3.3 3.3 3 1.2 1.1 1.1 1 2.1

G 1.3 5 5 4.6 3.4 1 4 5 6.7 1.7 5 4 1.7 1.4 4

② - 2

Chords: Cmb, D7, G, Em, Eb

2. 2 2 5 6 | 1 - - 1. | | | 2. | | | 3 4 4 4

4. 5 4 4 2 | 3 6 5 6 3 - 6 - 4 5 | 4 1 7 4

Chord: D

5 - - - 5 - - -

5 2 2 2 5 6. 6 7 - 5 -

Chords: D7, D9, B7, E7

5 - - - 6 6. 6 7 - 2 2. 2 5. 3 2. 7

7 7. 3 5. 4 2. 5 4 2 5 4. 2 3. 4 6. 7 7

雪の降り始め

Gm: A# G

3 3.3 6.5 4.5 3 3.3 4.3 6.1 7

1.1 1.1 7.6 7.7 7.6 3.3 3 3.3 4.3 6.1 7 3.4

5 3.3 3.2 2.1 6.6 6 1.2 3.3 3.3 3 1.2 1.1 1.1 1 2.1

Handwritten musical notation for guitar on a treble clef staff. The key signature has one sharp (F#). The notation includes notes, rests, and guitar-specific symbols like "2.", "546", and "444". Chords Gm and Gm are indicated below the staff.

Handwritten musical notation on a treble clef staff. It features a whole note with a slur over it, and the number "5" written below the staff. The key signature has one sharp (F#).